

1000 体

日常生活の中にいつもアバターがいる街づくりを始めます

～社会実装パートナーとともにアバターの社会インフラ化を実現～



ANA ホールディングス株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:片野坂 真哉、以下「ANAHD」)は、人々の想像・創造力の融合によって社会課題を解決し、価値を創造する Society 5.0 の実現に向けてアバターの社会インフラとして導入し、自治体やデベロッパーなどの 18 の社会実装パートナーとともに、日常生活のさまざまなシーンの中でアバターが社会インフラとして利活用される街づくりをスタートします。

まずはこちらのアバター紹介動画をご覧ください。<https://youtu.be/sSNHyeV8pfQ>



社会インフラとしてアバターの普及を実現するために、ANAHD は普及型コミュニケーションアバター「newme (ニューミー)」を独自開発しました。「newme」はこれまで行った実証実験の結果をもとに高画質、首振り機能、折り畳み式、軽量化、カスタムデザインなど、社会への普及に必要な機能を備えたアバターです。自分の分身となる「newme」に存在・意識を伝送することで、物理的な距離を越えたコミュニケーションをはじめとしたあらゆる用途で自分の分身として活用することが可能です。この「newme」を 2020 年の夏までに 1000 体普及させることを目指します。

また、ANAHD はアバターサービスを提供するためのプラットフォームとなる「avatar-in(アバターイン)」(URL: <https://avatarin.com/>)をローンチし、2020 年 4 月のサービス化を目指します。アプリや WEB サイトから「avatar-in」にアクセスする、すなわち“アバターイン”することで、世界中の人々が社会インフラとしてのアバターを使えるようになります。

街なかの至るところに配置された「newme」に「avatar-in」を通じて“アバターイン”することで、自宅にいながらショッピングを楽しんだり、忙しくてなかなか行くことの難しい役所に昼間訪れたり、病院のベッドから水族館を見学したり、海外の方が日本のスポーツを観戦したりと、さまざまな可能性が広がっていきます。

ANAHD は、アバターの社会インフラ化を通じて移動の概念を変え、地球規模の社会課題解決に挑み、人間拡張によりすべての人類がいきいきと暮らせる未来社会の実現を目指します。これは ANAHD だけでは実現出来ません。産官学で連携し、アバター技術の研究・開発を加速し、社会実装を進めていくために皆さまの参画をお待ちしています。

◆アバター社会実装パートナー



- ① 自治体
東京都 大分県 沖縄県 香川県 加賀市
- ② 大学・研究機関
大阪大学 理化学研究所
- ③ デベロッパー
三井不動産 森ビル 三菱地所 阪急阪神不動産 東急 うめきた2期地区開発事業者
- ④ 百貨店
三越伊勢丹
- ⑤ スポーツ・エンターテイメント
電通
- ⑥ 通信会社
NTTドコモ KDDI Softbank

◆普及型コミュニケーションアバター「newme(ニューミー)」

諸元 ※2020年以降の機能一覧



走行速度	2.9 km/h	折りたたみ	可
重量	S:14.5kg M:15.0kg L:15.5kg	安全装置	衝突防止センサー
寸法 高さ	S:100cm M:130cm L:150cm	首振り	上下±60°
寸法 ベース	35cm × 44cm	ディスプレイ	10.1 インチ(26cm)
素材	樹脂	タッチパネル	あり
稼働時間	約 3 時間	画質	フル HD(2K)
電池	リチウムイオン電池	価格	未定